

## 「ヘルスケア産業の最前線 2015 in 東京」

### 【開催趣旨】

世界に先駆けて少子高齢化が進む我が国では国民の健康長寿に関する関心は高まりを見せております。また、今後増大する医療・介護費用の公的負担の抑制も大きな課題であり、公的保険外の予防・健康管理関連の製品・サービスを提供する「健康寿命延伸産業」を創出することが重要であると考えられます。

これら背景の下、株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:藤井順輔、本社:東京都品川区)は、標記の経済産業省の事業の一環として公的保険外の医療・介護周辺サービスや生活支援型のサービスなどの健康寿命延伸領域における産業創出を目指し、民間事業者・医療・介護機関等により組成された15件のコンソーシアムと共に事業を実施してまいりました。この度、標記事業の成果を共有・発表するための成果報告会を開催いたします。

成果報告会では、コンソーシアムの成果発表に止まらず、お集まり頂いた民間事業者や保険者、医療機関・介護機関、自治体関係者等が、新たなヘルスケアサービスに対する期待と認識を共有し、また当該領域における持続可能なビジネスの創出を目指す皆様の出会いの場としても活用いただきたいと思います。

### 【開催概要】

開催日時	開催場所	内容	定員
平成27年3月25日(水) 14:30~18:30 (開場受付:13時45分)	泉ガーデンギャラリー 〒106-0032 東京都港区六本木1-5-2 泉ガーデンギャラリー	経済産業省による挨拶 コンソーシアムによる成果発表 パネルディスカッション コンソーシアムによるパネル展示	300名

※参加応募数が定員を上回った場合は、人数の調整をさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

【主催】経済産業省

【事務局】株式会社日本総合研究所

【参加費】無料

### 【タイムテーブル】

時間	講演タイトル
14:30-14:40	経済産業省代表者挨拶・事業概要説明
14:40-16:00	成果報告① 一般財団法人日本規格協会
	成果報告② 株式会社ルネサンス
	成果報告③ 株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア
	成果報告④ 株式会社資生堂
	成果報告⑤ アイアル少額短期保険株式会社
16:00-16:15	評価委員からの講評
16:15-17:30	【パネルディスカッション】「ヘルスケア産業がつくる日本の未来(仮)」 モデレーター:木場弘子 パネリスト :企業代表者、有識者、経済産業省

時間	展示
14:30-18:30	コンソーシアムによるパネル展示

※講演タイトル・講演者及びプログラム内タイムテーブルは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【お問合せ先】 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 リサーチ・コンサルティング事業部  
担当: 望月 e-mail: 200010-health\_care2015@ml.jri.co.jp

## 「ヘルスケア産業の最前線 2015 in 関西」

### 【開催趣旨】

世界に先駆けて少子高齢化が進む我が国では国民の健康長寿に関する関心は高まりを見せております。また、今後増大する医療・介護費用の公的負担の抑制も大きな課題であり、公的保険外の予防・健康管理関連の製品・サービスを提供する「健康寿命延伸産業」を創出することが重要であると考えられます。

これらの背景の下、経済産業省では健康長寿に関する多様なニーズに応えるため、公的保険外の医療・介護周辺サービスや生活支援型のサービスなどの健康寿命延伸領域における産業創出を目指し、民間事業者・医療・介護機関等により組成された15件のコンソーシアムと共に事業を実施してまいりました。この度、標記事業の成果を共有・発表するための成果報告会を開催いたします。

成果報告会では、コンソーシアムの成果発表に止まらず、お集まり頂いた民間事業者や保険者、医療機関・介護機関等が、新たなヘルスケアサービスに対する期待と認識を共有し、また当該領域における持続可能なビジネスの創出を目指す皆様の出会いの場としても活用いただきたいと思いますと考えております。

※本イベントは医と健康フォーラム2015関西実行委員会にご協力を頂いております。

### 【開催概要】

開催日時	開催場所	内容	定員
平成27年3月20日(金) 10:30~13:00 (開場受付:10時)	グランフロント大阪 ナレッジシアター 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館	経済産業省による挨拶 基調講演 コンソーシアムによる成果発表 コンソーシアムによるパネル展示	380名

※参加応募数が定員を上回った場合は、人数の調整をさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

【主催】経済産業省

【協力】医と健康フォーラム2015関西実行委員会

【事務局】株式会社日本総合研究所

【参加費】無料

【タイムテーブル】

時間	講演タイトル
10:30-10:40	経済産業省代表者挨拶・事業概要説明
10:40-11:30	【基調講演】「ヘルスケア産業の可能性と未来(仮)」 講演者:株式会社ローソン 代表取締役社長 玉塚元一
11:30-12:30	成果報告① 株式会社博報堂
	成果報告② 医療法人富永ペインクリニック
	成果報告③ 株式会社コナミスポーツ&ライフ
	成果報告④ 株式会社ジェイアール東日本企画
12:30-13:00	展示コンソーシアムによるパネル展示セッション
時間	展示
10:30-18:30	コンソーシアムによるパネル展示 ※ナレッジシアター ホワイエにて展示

※講演タイトル・講演者及びプログラム内タイムテーブルは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【お問合せ先】 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 リサーチ・コンサルティング事業部  
担当: 望月 e-mail: 200010-health\_care2015@ml.jri.co.jp

## 「ヘルスケア産業の最前線」コンソーシアムパネル展示への参加事業

### 事業区分：健康寿命延伸分野の事業環境整備

事業名	代表団体名	事業概要
北海道における健康寿命延伸にかかるプラットフォーム構築事業	社会医療法人禎心会	「北海道ヘルスケアサービス創造研究会」により創案された事業のうち、①アクティブシニアを担い手として活用した地域における就業支援システムの構築、②道産素材等の地域資源を活用したヘルスツーリズムモデルの創出とアクティブシニア雇用促進を目指すものであり、これらの事業環境整備に関するモデル調査事業により、地域における新たな連携支援体としてのプラットフォーム機能を確立する。
スマートライフステイ(宿泊型保健指導)を通じた糖尿病予防効果及び労働生産性改善度の検証	株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア	糖尿病のハイリスク者及び軽症患者を対象に、宿泊を伴う4～5カ月の糖尿病予防支援を実施し、糖尿病の発症率、悪化率を指標にその効果を検証すると共に、今回の結果を基にしたデータから労働生産性及び医療費への影響を予測し、その投資対効果(ROI)を検討することによって、糖尿病予防効果及び健康投資の経営的メリットを明確にし、健康経営の意識向上を促すエビデンスを構築、合わせて健康寿命延伸に資する事業モデルを提示する。
スポーツクラブにおける認知機能の低下予防のための運動サービス提供事業	株式会社コナミスポーツ&ライフ	スポーツクラブにおいて、認知機能の低下予防サービスの提供を実現するため、グレーゾーン想定範囲と考えられる医療機関への受診勧奨、医療機関からの紹介・指示等の実施、エビデンス等に担保された認知機能の低下チェックツール等の活用が医行為に該当しないか等についてグレーゾーン解消制度活用を見据えた検討を行い、民間事業者において認知機能チェックを実施する基盤を構築する。
駅から歩くウォークラリーを活用した日常密着型ヘルスケアの仕組み構築及び課題明確化と解決のための調査事業	株式会社ジェイアール東日本企画	JR東日本が持つ既存のウォークラリーのコンテンツ「駅から歩くウォークラリーえきぼ」をベースに、利用者のヘルスケアデータの取得・フィードバック、インセンティブ付与等の機能拡充を図り、「駅」という公共施設と駅周辺地域の商店街等連携した、地域密着／日常生活密着型のヘルスケアの仕組みとして、疾病予防等の効果検証も含めた実証を行う。本年度はJR秋葉原駅を中心に2か月間の実施・検証を行い、駅等の公共施設を拠点とした事業モデルとして、他地域への波及に寄与する知見を得る。

### 事業区分：健康関連商品・サービスの標準規格、品質の見える化

事業名	代表団体名	事業概要
疾病予防向けアクティブレジャー事業者の品質評価・認証	一般財団法人日本規格協会	本人の趣味・趣向、ライフスタイルに応じて積極的に体を動かす、スポーツ、ハイキング、体操、園芸、釣り、旅行などのレジャーのうち、疾病予防・介護予防及び健康維持・増進を目的として、「安全」、「効果」、「継続」が担保されたものを「疾病予防向けアクティブレジャー」と定義し、国民に対して安心信頼してサービスを利用できる環境の創出や、自治体、保険者、企業、医療・介護機関などのサービス利用者に対して合理的な選択情報が提供されるための、疾病予防向けアクティブレジャー事業者の個々事業所のサービス品質を評価する品質評価・認証制度の構築及び、利用者に対する「品質の見える化(事業所の目印化)」のための、認証付与を行う。
続けられる健康生活習慣へ、「人を動かす」プロジェクト	株式会社博報堂	国立循環器病研究センターの医学的知見等に基づき、生活者の健康的な生活習慣に寄与する多様な商品・サービスに対する品質評価基準を、医学的効果・心理効果・経済効果の3つ視点に基づいて開発し、あわせて生活者と事業者を巻き込んだ仕組みを形成することで、続けられる健康生活習慣への自発的な行動を促す事業を創出する。今年度は、循環器病(高血圧症、糖尿病、高脂血症)予防に効果の高い食事に関する品質評価基準を開発し、その上で認証基準を構築する。

## 「ヘルスケア産業の最前線」コンソーシアムパネル展示への参加事業

### 事業区分：企業、個人等による健康への投資を促進する仕組み

事業名	代表団体名	事業概要
「ウエルネスプログラム」と連動した生命保険の検証	アイアル少額短期保険株式会社	保険加入者が自らの健康状態(バイタルデータ)を継続的に告知し、そのデータの分析結果に応じて保険料の割引や健康ポイントが付与される新たな保険商品の開発を目指し、そのために必要な個人のバイタルデータ等の告知項目の設計や、健康状態と割引指標の相関についての検証を行う。さらに、海外事例調査や新たな保険事務スキームの検証も行き、バイタルデータの分析結果等も踏まえ、新たな保険商品の開発に着手し、金融当局に対する申請を行う。
健康企業度調査	株式会社日経リサーチ	健康への意識を向上させた経営者をはじめとする「企業による健康投資拡大」を目指し、企業における健康経営等の実施・健康増進への取り組み・現在の意識等についての実態把握を行う。あわせて企業の健康経営度を測定する健康経営基準を策定し、積極的な健康投資に向けた経営者の行動変容促進を目指す。
健指導事業への投資を拡大させる標準効果指標基盤の整備事業	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	保険者・企業に対し、医療費や疾病構造等に基づいた健康課題を見える化し、課題解決のために適した保健事業の選択を可能とするための、効果指標を策定し、保険者・企業が効果的・効率的に疾病予防等の健康投資を促進する基盤を構築する。将来医療費推定指標、疾病発症率指標、労働生産性指標に基づき、優先される対象者層や実態・予算に合わせた様々な組合せの保健事業の選択を促すとともに、利用者が効果を把握できる仕組みを提供する。
健保保有の情報分析により健康投資効果を検証する事業	パナソニックヘルスケア株式会社	医療費のボリュームゾーンにあたる健保組合の特例退職者に対し、個人データ(健診・服薬情報)を活用した訪問保健指導を行い、その効果を検証するとともに、事業主や保険者への普及の動機付けとなるような医療費による見える化を行う。個人データを活用する保健指導群・従来型保健指導群・健康群の3群において、生活習慣と医療費の相関関係を分析し、生活習慣の善し悪しによる医療費の差異について検証する。
産業メンタルヘルスにおける投資対効果を見える化する健康指標づくりのためのRHS(Return to Health System)事業	株式会社ゼーレ	医学と科学的検証に基づく一次予防～三次予防までの「産業メンタルヘルス総合支援システム(仮称)」の構築を目指し、個人面談とグループワーク型教室を連動させ職場復帰を目指すメンタルヘルス不調者の「働く能力」の向上を目的とするRHP(Return to Health Program)の開発・提供を行う。RHP提供を通じて、労働生産性損失削減効果、労働・作業能力改善の評価を行い、企業内メンタルヘルスに係る健康投資促進に向けた指標づくりを行う。
美容的ヘルスケアサービス提供による介護費用削減効果の検証プロジェクト	株式会社資生堂	高齢者のQOLに対する意識の向上、健康増進、そして高齢者の介護費抑制を目指し、在宅高齢者、要介護高齢者、要医療高齢者を対象に、定期的な化粧品サービスの提供を通じて、介護予防効果・リハビリ効果や高齢期のQOLに与える効果を検証する。また、検証結果に基づき、化粧品サービスの提供意義を明らかにするとともに、健康状態の改善等の指標から、介護費抑制効果について定量的な評価を行う。
職域における健康投資に関する効果指標および投資環境整備(健康データのオープン化・小規模事業所)の調査事業	株式会社フジクラ	企業の健康投資が企業利益に結びつくことを客観的・定量的に示すため、企業の健康増進・疾病予防施策により得られる投資効果を健康度指数及び行動変容等の中間的指標と、従業員の活性度向上による事業成績の向上との相関を明らかにすることで、新しい経営的観点での効果指標の確立を目指す。今年度は、中間的指標と従業員及び組織の活性度向上との相関までを明らかにする調査事業を行う。
認知症予防を目指す統合型MCI早期介入プロジェクト	株式会社ルネサンス	認知機能の低下状態への予防的介入として、運動、栄養、睡眠の3つの要素を取り入れた「認知機能低下予防プログラム」の構築と、プログラムの効果検証を行う。効果検証結果に基づき、健康投資の投資対効果の観点から、認知症に係るコストの低減効果を試算する。
健康寿命延伸を目的とした医療費削減モデル事業	医療法人富永ペインクリニック	医院、メディカルフィットネス、鍼灸院が連携した「痛み改善のワンストップ施設」の構築により、公的保険内と公的保険外サービスの組み合わせた新たな健康産業の創出と、投薬量の減少等の医療費削減、痛み軽減による健康寿命延伸を実現するとともに、ワンストップ施設モデルの他域展開の可能性についての検証を行う。また、商店街等と連携した、健康投資促進・健康寿命延伸を軸とした新たな地域活性化モデルの検討を行う。